



# インベスコの債券運用におけるESGへの取り組み

2021年2月26日（金）

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社 プロダクト・マネジメント本部



ESG投資による  
リターンへの影響

- ESGに着目することで、**投資判断に新たな視点**
- 長期的に**安定したリターン**に期待

投資先の選定

- **堅固なESG運用体制**を構築し、**実績豊富なマネジャー**の採用

ESG運用における  
様々なニーズ

- 投資家のニーズに応じた**カスタマイズド・ソリューション**の提供

# ESG債券投資のリターン特性



# ESG債券投資の事例：エネルギー（ミッドストリーム）銘柄

## ESGに着目することで、投資判断に新たな視点



ESGレーティングにおけるA格銘柄とB格銘柄では、リターン特性値に大きな違いは見られない一方で、A格/B格の企業とC格の企業では、クレジット・クオリティやボラティリティの差異が顕著に

MSCI 格付	対象企業	配当利回り	5年間の デフォルト 確率	株主リターン (LTM)	10年債 スプレッドの 1標準偏差	10年債 スプレッド vs インデックス
<b>A</b>	Enbridge Inc. ONEOK	5.1%	0.74%	29%	10bps	127
<b>B</b>	TransCanada Kinder Morgan Williams EPD Buckeye Partners	6.3%	0.87%	19%	14bps	123
<b>C</b>	Energy Transfer Plains All American	6.4%	1.24%	11%	25bps	153



出所：インベスコ、ブルームバーグ、MSCI。2019年4月末時点。例示的目的。  
また、特定の有価証券の推奨、勧誘および販売を企図するものではありません。

# 債券運用におけるESGへの取組み



## 評価

### 世界トップクラスのESG評価

- PRI（責任投資原則）の**債券関連の評価でA+評価もしくはA評価を獲得**
- **ESG Investing Awards 2021**において、Best ESG ETF Providerカテゴリー、Best ESG Investment Fund Specialist Fixed Incomeカテゴリーで、**Runner-upの評価**

## 実績

### 豊富かつ良好な運用実績

- インベスコのESG債券運用は**2003年から開始**。債券のESG戦略の運用資産残高は2020年12月末現在において**106.7億ドル（約1.1兆円）**
- 債券ESG戦略のコンポジットでは、2020年12月末現在、**過去1年、過去3年でベンチマークをアウトパフォーム**（年率）※1
- **各種カスタマイズへの柔軟な対応実績**（ネガティブ・スクリーニング、ベスト・イン・クラス、その他）

## 組織

### グローバル市場を幅広くカバーする充実した組織

- **170名超の運用スタッフ**をグローバルの14拠点に配置
- 投資適格、ハイ・イールド、バンクローン、新興国などを幅広く網羅する**グローバルな調査・運用体制**を構築
- **業界最大級のアナリストチーム（90名超）がESGもカバー**※2

（出所）インベスコ・フィクスト・インカム。注記のない限り2020年12月末時点。

※1：運用報酬等控除前、米ドルベース。2017年2月28日設定のESGコンポジット。過去のパフォーマンスは将来の運用成果を保証するものではありません。

※2：社債アナリストの他、バンクローン担当アナリストも含む。

# 世界トップクラスのESG評価

## PRI主要項目のうち、4項目で最高A+評価、残り4項目もA評価を獲得<sup>1</sup>



- インベスコは、会社としてMSCIからA評価を獲得したほか、サステナビリティのESGレーティングにおいてOutperformerを獲得<sup>2</sup>するなど、世界的に認められています。
- ESG Investing Awards 2021において、Best ESG ETF Providerカテゴリー、Best ESG Investment Fund Specialist Fixed Incomeカテゴリーで、Runner-upの評価

Signatory of:



### 2020年 PRIの評価レーティング<sup>1</sup>

項目	2017 インベスコ	2018 インベスコ	2019 インベスコ	2020 インベスコ
Strategy & Governance	A+	A+	A+	A+
Listed Equity – Incorporation	A	A	A+	A+
Listed Equity – Active Ownership	A	A	A	A
Fixed Income – SSA (Supranational, Sovereign and Agency)	A+	A+	A	A+
Fixed Income – Corporate Financial	A	A	A	A
Fixed Income – Corporate Non-Financial	A	A	A	A+
Fixed Income – Securitized	E	E	E	A
Property	A	A	A	A

上記ランキングやレーティングの記載は、あくまでも参考情報であり、パフォーマンス等を保証するものではなく、また今後も同等のものを確保することを保証するものでもありません。

1. PRIによるアセスメントレポート。各カテゴリーは6つのパフォーマンスバンド（A+, A, B, C, D, E）を用いて評価されます。A+は署名機関のうち上位5%以上に分類され、Aは上位25%以上に分類されます。2. Sustainalytics、2016年12月28日以降

# インベスコのESG債券投資の実績

## 長期にわたる豊富な実績



### ESG債券-これまでの取組み

- 1989年以来、インベスコでは、米国やドイツの宗教財団などをはじめ多数の投資家向けにESG関連の株式プロダクトを運用
- **2003年**、債券部門とクオンツ部門が共同でポジティブ・スクリーニングとネガティブ・スクリーニングを組み合わせた**ESG運用を開始**
- 2012年、**エマージング債券**におけるネガティブ・スクリーニング戦略を運用
- 2016年、**投資適格社債**におけるネガティブ・スクリーニング戦略、ベスト・イン・クラス戦略を運用
- 2016年、ネガティブ・スクリーニングを活用した**バンクローン戦略**を運用
- 2019年、**債券インパクト投資**を行う旧SNW社を買収

### ESG債券-運用資産残高

- 2020年12月末時点、**106.7億ドル（約1.1兆円）**を運用  
（内訳） ESG債券： 71.7億ドル（約7,400億円）  
ESGバンクローン： 35.1億ドル（約3,600億円）

出所：インベスコ。2020年12月時点。1ドル=103.25円で換算



# 債券運用におけるESG投資ソリューション 様々なカスタマイズド・ソリューションを提供



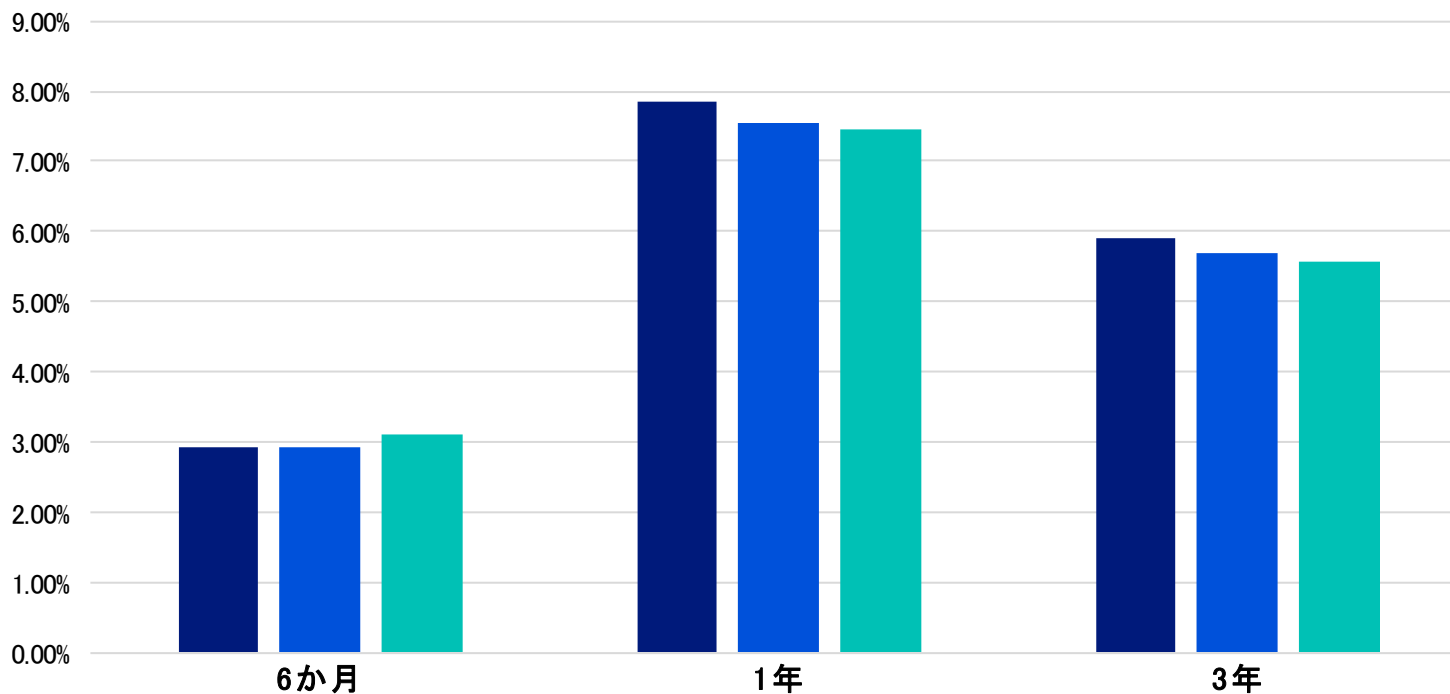
ESG 評価手法	概念	ベンチマークの例
<b>ネガティブ スクリーニング</b>	ネガティブ・スクリーニングによって、賭博、武器、銃器、原子力、アルコール飲料、遺伝子組み換え食品などに関連する銘柄を除外。	Bloomberg Barclays MSCI Socially Responsible (SRI) Index
<b>ベスト・イン・ クラス</b>	ポジティブ・スクリーニングによって、特定のセクター内でより効果的にESGリスクを管理し、ESGレーティングがピア対比で上位50%となる発行体を抽出。	Bloomberg Barclays MSCI Sustainability Index
<b>モメンタム</b>	ESGレーティングが高い発行体またはESGレーティングが改善傾向にある発行体を選択。	Bloomberg Barclays MSCI ESG-Weighted Index
<b>カスタマイズ</b>	企業の価値観と運用方針を合致させた形で、テーラーメイドのESG運用ソリューションを提供。	MSCIの主要項目、レーティングなどに基づいて評価。
<b>グリーンボンド</b>	Climate Bonds InitiativeおよびGreen Bond Principlesの定義に沿った、幅広いグローバル・ポートフォリオ。ソブリン、社債、ABS、地方債といった各種債券に投資。	S&P Green Bond Index
<b>インパクト投資</b>	金融的リターンと、能動的に計測可能な、社会・環境へのポジティブなインパクトの両方を意図的に追求する投資手法。	なし（評価手法の初期段階）

出所：インベスコ。例示的目的のみ。

# ESGコンポジットパフォーマンス ベンチマークを上回る安定したリターンを獲得



コンポジット名 : Invesco US Corporate Credit Intermediate Bond ESG BB+コンポジット  
 ベンチマーク : MSCI US Corporate Sustainability BB+ Intermediate Index (USDベース)  
 ご参考 : Bloomberg Barclays US Intermediate Corporate



■コンポジット	2.93%	7.85%	5.91%
■ベンチマーク	2.92%	7.54%	5.69%
■ご参考	3.11%	7.47%	5.57%

2020年12月末時点。当戦略の設定は2017年2月28日。  
 ベンチマークにはMSCI US Corporate Sustainability BB+ Intermediate Indexを記載しています。当指数は、MSCIが公表しているインデックスです。  
 過去のパフォーマンスは将来の運用成果を保証するものではありません。

# インベスコのESG投資戦略の例

## 様々な債券ESG戦略やESG指数を提供

### 専用口座では、下記以外にも様々なESG債券戦略を運用



#### コミングル ファンド & ETF

- Invesco Global ESG Investment Grade Corporate Bond 戦略
- Invesco Floating Rate ESG 戦略
- Invesco Environmental Focus Municipal 戦略
- Invesco Global Senior Loan ESG 戦略
- Invesco US Senior Loan ESG 戦略
- Invesco European Senior Loan ESG 戦略
- GBP Corporate Bond ESG 戦略

#### セルフ・ インデックス

- インベスコ米国投資適格社債ESG指数
- インベスコ・グローバル・グリーンボンド指数（除く日本）
- インベスコ・グローバル環境社債指数（除く日本）

出所：インベスコ・例示的目的のみ。  
また、特定のファンドや有価証券の推奨、勧誘および販売を企図するものではありません。

## ご参考：セパレートアカウントでの取組み事例

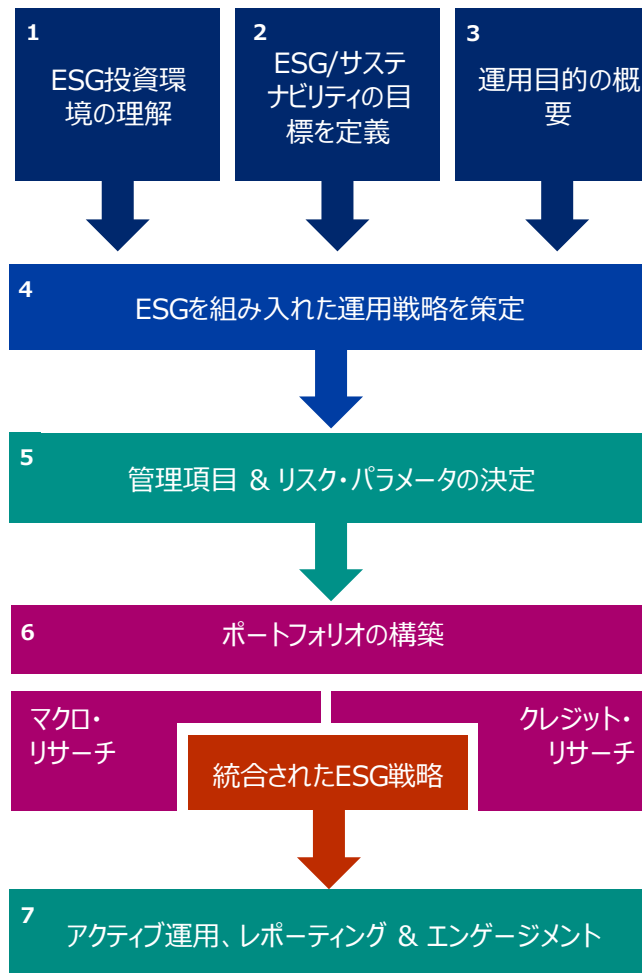


# ESGの投資事例① – ネガティブ・スクリーニング

当事例はあくまで一例であり、お客様が希望されるアプローチ（ベスト・イン・クラス、ネガティブ・スクリーニング、テーマ別など）に対応可能です。



- 当顧客は米国に本拠地を置くカトリック系の宗教団体であり、学術とヘルスケアに深く関わっている
- 1989年以來、インベスコは、一連の投資制限に従って、米国総合型マンドートを運用
- 当顧客は、次のような価値観を持っており、それが当運用に影響  
- 人権の促進・保護、機会均等の多様性（性別、人種）、ヘルスケアへのアクセス拡大、企業の社会的責任、生態系の保護、二酸化炭素排出削減、再生可能エネルギーの促進、企業との積極的な対話
- その結果、投資制限上、次のものを除外  
- 中絶薬、胎児幹細胞採取、ワースト15の炭素排出者、ギャンブル機器、カジノ、原子力発電、ウラン採掘、アダルト・エンターテインメント、対人兵器、不当な動物実験、安全でないエネルギー生産



2. 顧客が社会的責任投資プログラムのガイドラインを提供。毎四半期、コンサルタントが投資禁止発行体リストを提供

3. 顧客は、インデックスと投資リスク・パラメータを提供。インデックス外のハイ・イールド投資が可能

4. ポートフォリオマネージャーが投資禁止発行体リストを確認。ポートフォリオマネージャーがMSCIデータをチェック

5. 投資制限が反映されたコンプライアンス・システム

6. ポートフォリオは、クレジットベータ、テーマ別/セクター別、銘柄選択の観点からアクティブに運用。ポートフォリオ・マネージャーは、各組入れ銘柄について、顧客が期待する投資行動に合致しているか確認

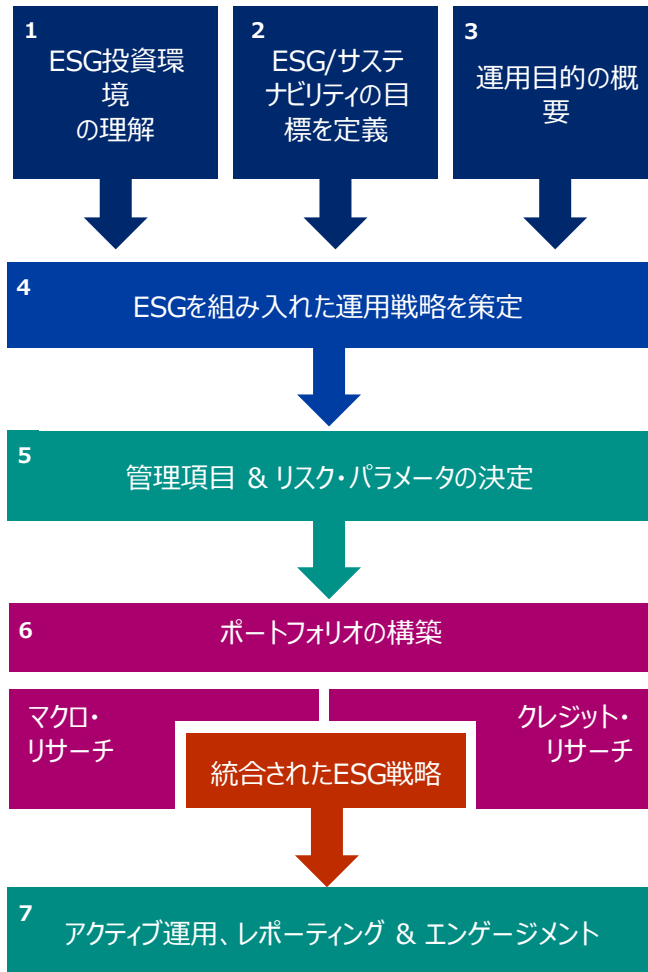
7. インベスコのクライアント・サポート・チームが、顧客の期待に沿うよう、社内プロセスを整備

# ESGの投資事例②- ベスト・イン・クラス

当事例はあくまで一例であり、お客様が希望されるアプローチ（ベスト・イン・クラス、ネガティブ・スクリーニング、Invesco テーマ別など）に対応可能です。



- 当顧客は、ヨーロッパに拠点を置く多国籍に展開する保険会社
- 2011年以來、インベスコは投資適格社債および証券化商品など様々なポートフォリオを運用。特定の法人や会社の投資制約等、一連の運用ガイドラインあり
- 当顧客は、社内にポートフォリオ管理部門を持っていますが、投資能力を広げ、市場情報を得るために、外部マネージャーに運用をアウトソース
- 2016年、当顧客は、アクティブ・マナドートとパッシブ・マナドートにまたがる投資体制を転換し、ESGを指針とすることを戦略的に決定。同社は国連PRIに早くから署名したことも後押し
- 40億米ドル規模の資産が、Bloomberg Barclays MSCI Sustainability Indexに基づいて運用されることに



3. 顧客は、ベスト・イン・クラスのベンチマークであるMSCI ESGインデックスを採用。投資リスクパラメータはそれに応じて調整され、各種ドキュメントも修正

4. ポートフォリオマネージャーは、MSCIインデックスの制約を遵守しながらも、リターン改善のためにインデックス外銘柄を15%まで組み入れ可能

5. 投資制約と新たなインデックスをカバーするコンプライアンス・システムを用意。データソースの契約やプロセスの強化とともに、コンプライアンスによる監督が必要

6. ポートフォリオは、クレジット・ベータ、テーマ別セクターのローテーション、銘柄選択のためにアクティブ運用されるが、新たなパラメータに応じて調整（ESGの影響を受けるセクター、特にエネルギー、ヘルスケア、消費者関連セクター等）。2016年、実現損益の制約を考慮し、ポートフォリオを入替え

7. インベスコのクライアント・サポート・チームは、顧客の期待に沿うよう、社内プロセスを整備し、マナドート移行をサポート。MSCIとアラジンのプラットフォームを利用し、新たなレポートヘ対応

# 債券運用におけるESG投資プロセス



# インベスコの債券運用におけるESGへの取り組み お客様それぞれのESG投資へのニーズに、柔軟に対応



当社では、自社独自の調査体制、ESGインテグレーションへのコミットメント、グローバルなアプローチを活用することで、お客様に高い付加価値を提供できると考えています。

## 独立性

- インベスコ**独自のESG評価**
- お客様のニーズに応じて、投資対象やカバレッジ対象の範囲を決定可能な**幅広いリサーチ**
- 社内格付けに影響を与える要因に対して、ダイナミックなアプローチを取ることで、**タイムリーに発行体をレビュー**

## 統合 (インテグレーション)

- ESGリスク要因は、発行体の**潜在的な長期的財務リスク**を検知する新たな観点
- ESGリスクの検討は、ESGポートフォリオに限らず、**全てのポートフォリオに利益**をもたらす
- ESG評価は、**クレジット・ファンダメンタルズ評価と密接に関連**

## グローバル

- チーム間の連携に加え、当社の**一貫したESGアプローチを担保**
- 一貫したリサーチ・プロセスと社内格付け付与により、**複数資産にまたがるESG債券ポートフォリオの構築**が可能
- 債券/バンクローン、先進国債/新興国債にまたがる**包括的なESGプラットフォーム**を保有





# 90名超からなるクレジット・リサーチ体制

## 投資適格、ハイ・イールド、バンクローン、新興国にわたる調査体制



Financials	Healthcare	Consumer	Industrials	Commodities	TMT	Real Estate	Municipals
Justo Gonzalez	Mark Gilley	David Todd	Mike Kelley	Fabrice Pellous	Paul English	Mary Jane Milner	Mark Gilley
*Matt Bubriski Global Liquidity US/Europe Banks	Jennifer Brown Global Liquidity Muni Healthcare	*Adrian Garcia EM Consumer	Jay Sammons USIG Industrials	Bixby Stewart USIG Metals/Mining	Mike Breuer IG TMT	Ray Janssen USIG Real Estate	*John O' Connor Municipals
Jacob Habibi Global Liquidity US/Europe Banks	*Allen Davis US Muni Healthcare	Lucas Staggs Global Liquidity Consumer	Megan Rand US IG Utilities	Noam Alhadeff USHY Energy	Rahim Shad HY Media/Cable	Jamie Russell USHY Real Estate	Bill Womack Municipals
Paul English US IG Insurers	Joe Lotysz US Muni Healthcare	Ray Janssen US IG Consumer Cyclical	Peter Wietrak EM Industrials	Scott Roberts USHY Energy	*Adrian Garcia EM Telecom	David Lyle Structured Credit Residential	Matt Nichols Municipals
*Lucas Simmons Global Liquidity US/Europe Banks/Insurance	Art Schloss US Muni Healthcare	Glenn Bowling ABS Credit	Maynard Xu European Industrials	Fabrice Pellous EM Energy	Jamie Russell HY Technology	Kevin Collins Structured Credit Commercial	Grace Amalfitano Municipals
Ian Centis European IG Europe Banks	Eric Nelmark US Muni Healthcare	Sam Morton European IG Consumer	Sam Morton European IG Consumer/Autos	*Peter Wietrak EM Materials	Sam Morton European TMT	John O' Connor US Muni Real Estate	Joe Lotysz Municipals
David Todd Global Insurers	Megan Rand US IG Healthcare	Lisa Tao Asia Pacific Consumer	Chris Maurice Euro IG Basic Materials/Capital Goods/Other Ind	Cosmo Zhang APAC Industrials		Maynard Xu European Real Estate	Eric Nelmark Municipals
Yi Hu Asia Pacific Banks	Mike Kelley USHY Healthcare	Chris Maurice European IG Consumer	Lisa Tao APAC Industrials			Matthew Kong Asia Pacific Real Estate	
		Ryan Miler USHY Consumer	Greg Fisher USHY Industrials				
		Ken Frey Consumer Non- Cyc/Canadian Banks	*Greg Nordstrom USHY Industrials				
			Jamie Russell USHY Industrials				

# インベスコのESGリサーチの調査項目

業種特性にあわせた調査を踏まえ、競合他社との相対評価、方向性も評価



## アナリストによるESG調査



### 共通のESG調査項目

環境 (E)



気候リスク  
水ストレス

社会的 (S)



取締役会の独立性・多様性  
倫理  
サイバーリスク  
ジェンダーの多様性  
ジェンダー報酬ギャップ

ガバナンス・リスク (G)



監査リスク  
カントリー・リスク  
政治的ロビー活動



### (例1) コモディティセクター

森林伐採・水使用・廃棄物処理  
炭素・GHG排出量

社員の健康と安全  
地域社会との関係  
エネルギー資源の運用・開発

贈収賄と汚職  
投資家に対する誠実さ(例:負債の返済)  
中流/MLPのガバナンス構造



### (例2) 金融セクター

国連原則、エクエーター原則、  
国連グローバル・コンパクト  
(UNGC) への署名状況

従業員の多様性  
従業員の内部告発者保護方針  
サイバー・セキュリティおよびデータ侵害対策

不正防止  
取締役会の独立性、多様性、  
会議の頻度

## 独自のESG格付

### E, S & Gの各項目のスコア

1 2 3 4 5

トレンドが改善して  
おり先行

トレンドが悪化して  
おり劣後

### 全体的なESG評価

A B C D E

全てのスコアがセク  
ター内で中位以上

全てのスコアがセク  
ター内で中位以下

### ESGのトレンド (12~18ヶ月)

改善 安定的 弱含み

# ご参考：リサーチレポートのサンプル ファンダメンタルズ分析とESG分析を統合



独自の  
ESG格付

Invesco Credit Opinion					ORANGE				
Rating					Rating				
Issuer	Sector	Analyst	Fundamental Rating (IIFA)	IFI Credit Trend (ICT)	Agency	Issuer Rating	Rating Date	Outlook	
ORAF / ORANGE	Diversified Telecommunications	Morton	BBB+	STABLE	Moody's	Baa1	14/01/2014	STABLE	
					S&P	BBB+	22/04/2013	STABLE	
					Fitch	BBB+	30/10/2012	STABLE	

独自のファンダメンタルズ格付

Investment Thesis and Credit Opinion				
Investment Thesis				
<p>Although we see no specific near-term credit challenges, we do not believe that Orange offers compelling relative value in the senior space. However, in the hybrid space, we believe that investors are being paid sufficiently for the subordination risk and we would prefer to take exposure here. We believe that the back-end coupon on Orange's hybrid bonds is sufficiently high to alleviate any concerns on extension risk. We see attractive relative value across the hybrid complex with longer dated calls currently offering the best opportunities in our view. We have B-ratings in the hybrid space and C-ratings elsewhere.</p>				
Financial Summary				
EUR	12/16	12/17	12/18	LTM 06/19
<b>Income Statement</b>				
Revenue	40,918	40,859	41,381	41,692
Revenue Growth %	1.7%	-0.1%	1.3%	1.6%
EBITDA	12,127	12,268	11,987	12,516
EBITDA Growth %	-3.5%	7.2%	2.0%	0.5%
EBITDA Margin %	26.5%	28.5%	28.7%	30.0%
Net Income	2,935	1,843	1,954	2,204
Net Income Margin %	7.2%	4.5%	4.7%	5.3%
<b>Cash Flow Statement</b>				
FFO	7,828	10,586	9,270	8,790
CFO	8,459	10,174	9,506	9,468
Capex	-8,492	-7,527	-7,642	-8,392
Capex/Sales %	20.8%	18.4%	18.5%	20.1%
FCF (before ord. dividends)	-33	2,647	1,864	1,076
FCF (after ord. dividends)	-1,629	918	4	-781
Net chg in cash	1,886	-545	-176	554
<b>Balance Sheet</b>				
Cash & Equivalents	8,217	11,771	11,457	11,848
Total Debt	33,668	32,323	34,019	42,359
Net Debt	25,451	20,552	22,562	30,511
TEV	72,138	67,389	68,496	75,562
<b>Key Credit Metrics</b>				
Total Debt/EBITDA	2.8x	2.6x	2.9x	3.4x
Net Debt/EBITDA	2.1x	1.7x	1.9x	2.4x
Total Debt/TEV	0.5x	0.5x	0.5x	0.6x
EBITDA Interest Cover	7.5x	9.2x	9.5x	9.7x
FFO Interest Cover	5.3x	7.8x	6.6x	146.5x
FFO / Sales	0.2x	0.3x	0.2x	0.2x
FFO / Total Debt	23%	33%	27%	21%
FFO / Net Debt	31%	52%	41%	29%
<b>Invesco Rating Anchors</b>				
EBITDA Margin %	27%	28%	29%	30%
Rating eq.	AA	AA	AA	AA
EBITDA Interest Cover	7.5x	9.2x	9.5x	9.7x
Rating eq.	BB+	BBB-	BBB-	BBB-
Debt/EBITDA	2.8x	2.6x	2.8x	3.4x
Rating eq.	A-	A	A-	BBB+
<b>Structural Considerations</b>				
Covenants: Nothing meaningful.				

Invesco Credit Opinion					ORANGE																																																																																																																																											
Environmental, Social, and Governance																																																																																																																																																
ESG Rating & Commentary																																																																																																																																																
<p>IFI ESG Rating: C Trend: Improving</p> <p>Environmental: 1, Social: 4, Governance: 3</p> <p>As is typical among members of the European telecoms operators, Orange has a limited environmental footprint and is indeed a force for reducing emissions by facilitating teleworking. However, the company's environmental footprint is not as low as that of its peers. Although the company has a good track record in terms of employee safety, its governance and management practices are not as strong as those of its peers. Therefore, we assign a 3 for Governance. Overall we assign a C-improving.</p>																																																																																																																																																
<p><b>E、S、Gの各項目を評価</b></p>																																																																																																																																																
<p>■ Total GHGs/Sales ■ % Independent Directors ■ % Women on the Board</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Total GHGs/Sales</th> <th>% Independent Directors</th> <th>% Women on the Board</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12/2016</td> <td>47</td> <td>35</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>12/2017</td> <td>47</td> <td>33</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>12/2018</td> <td>50</td> <td>0</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>					Year	Total GHGs/Sales	% Independent Directors	% Women on the Board	12/2016	47	35	40	12/2017	47	33	40	12/2018	50	0	29																																																																																																																												
Year	Total GHGs/Sales	% Independent Directors	% Women on the Board																																																																																																																																													
12/2016	47	35	40																																																																																																																																													
12/2017	47	33	40																																																																																																																																													
12/2018	50	0	29																																																																																																																																													
<p><b>ESG Summary</b></p> <p>MSCI ESG Rating: AAA Environmental: 10, Social: 5.9, Governance: 6.9</p> <p>✓ Better performance than sector median; or has policy ✗ Worse performance than sector median; or does not have policy</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Level</th> <th>Direction</th> <th>Item</th> <th>FY2016 Level</th> <th>FY2016 %ile</th> <th>3ytr CAGR Level</th> <th>3ytr CAGR %ile</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>✓</td> <td>Improving</td> <td>Total GHGs/Sales</td> <td>34.69</td> <td>63%</td> <td>-0.84%</td> <td>58%</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>Improving</td> <td>Energy Use/Sales</td> <td>143.90</td> <td>27%</td> <td>-0.50%</td> <td>58%</td> </tr> <tr> <td>✗</td> <td>Stagnant</td> <td>Indirect (Scope 2) Emissions</td> <td>1.1</td> <td>20%</td> <td>1.70%</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td>✗</td> <td>Stagnant</td> <td>ESG Disclosure Level</td> <td>56.8</td> <td>0%</td> <td>-1.18%</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>✗</td> <td>Stagnant</td> <td>Last Time Incident Rate</td> <td>0.60</td> <td>20%</td> <td>0.74%</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>✗</td> <td>Stagnant</td> <td>Employee Turnover</td> <td>4.33</td> <td>92%</td> <td>-13.41%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>Improving</td> <td>Community Spending</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> </tr> <tr> <td>✗</td> <td>Stagnant</td> <td>Women in the Workforce</td> <td>36.1</td> <td>67%</td> <td>-0.09%</td> <td>46%</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>Improving</td> <td>% Independent Directors</td> <td>46.67</td> <td>0%</td> <td>0.00%</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>Improving</td> <td>% Women on the Board</td> <td>40.00</td> <td>62%</td> <td>14.47%</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>Improving</td> <td>Board Average Age</td> <td>55.5</td> <td>70%</td> <td>-0.20%</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>✗</td> <td>Stagnant</td> <td>CEO Salary + Bonus</td> <td>1,440,000.0</td> <td>47%</td> <td>3.72%</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>Improving</td> <td>Board Average Age</td> <td>55.5</td> <td>70%</td> <td>-0.20%</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>Improving</td> <td>Emissions Reduction</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>Improving</td> <td>Green Pay</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>Improving</td> <td>Climate Change</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>Improving</td> <td>Environment</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>Improving</td> <td>Human Rts</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>Improving</td> <td>Poison Pill</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> <td>na</td> </tr> </tbody> </table>					Level	Direction	Item	FY2016 Level	FY2016 %ile	3ytr CAGR Level	3ytr CAGR %ile	✓	Improving	Total GHGs/Sales	34.69	63%	-0.84%	58%	✓	Improving	Energy Use/Sales	143.90	27%	-0.50%	58%	✗	Stagnant	Indirect (Scope 2) Emissions	1.1	20%	1.70%	36%	✗	Stagnant	ESG Disclosure Level	56.8	0%	-1.18%	87%	✗	Stagnant	Last Time Incident Rate	0.60	20%	0.74%	25%	✗	Stagnant	Employee Turnover	4.33	92%	-13.41%	60%	✓	Improving	Community Spending	na	na	na	na	✗	Stagnant	Women in the Workforce	36.1	67%	-0.09%	46%	✓	Improving	% Independent Directors	46.67	0%	0.00%	9%	✓	Improving	% Women on the Board	40.00	62%	14.47%	53%	✓	Improving	Board Average Age	55.5	70%	-0.20%	33%	✗	Stagnant	CEO Salary + Bonus	1,440,000.0	47%	3.72%	64%	✓	Improving	Board Average Age	55.5	70%	-0.20%	33%	✓	Improving	Emissions Reduction	na	na	na	na	✓	Improving	Green Pay	na	na	na	na	✓	Improving	Climate Change	na	na	na	na	✓	Improving	Environment	na	na	na	na	✓	Improving	Human Rts	na	na	na	na	✓	Improving	Poison Pill	na	na	na	na
Level	Direction	Item	FY2016 Level	FY2016 %ile	3ytr CAGR Level	3ytr CAGR %ile																																																																																																																																										
✓	Improving	Total GHGs/Sales	34.69	63%	-0.84%	58%																																																																																																																																										
✓	Improving	Energy Use/Sales	143.90	27%	-0.50%	58%																																																																																																																																										
✗	Stagnant	Indirect (Scope 2) Emissions	1.1	20%	1.70%	36%																																																																																																																																										
✗	Stagnant	ESG Disclosure Level	56.8	0%	-1.18%	87%																																																																																																																																										
✗	Stagnant	Last Time Incident Rate	0.60	20%	0.74%	25%																																																																																																																																										
✗	Stagnant	Employee Turnover	4.33	92%	-13.41%	60%																																																																																																																																										
✓	Improving	Community Spending	na	na	na	na																																																																																																																																										
✗	Stagnant	Women in the Workforce	36.1	67%	-0.09%	46%																																																																																																																																										
✓	Improving	% Independent Directors	46.67	0%	0.00%	9%																																																																																																																																										
✓	Improving	% Women on the Board	40.00	62%	14.47%	53%																																																																																																																																										
✓	Improving	Board Average Age	55.5	70%	-0.20%	33%																																																																																																																																										
✗	Stagnant	CEO Salary + Bonus	1,440,000.0	47%	3.72%	64%																																																																																																																																										
✓	Improving	Board Average Age	55.5	70%	-0.20%	33%																																																																																																																																										
✓	Improving	Emissions Reduction	na	na	na	na																																																																																																																																										
✓	Improving	Green Pay	na	na	na	na																																																																																																																																										
✓	Improving	Climate Change	na	na	na	na																																																																																																																																										
✓	Improving	Environment	na	na	na	na																																																																																																																																										
✓	Improving	Human Rts	na	na	na	na																																																																																																																																										
✓	Improving	Poison Pill	na	na	na	na																																																																																																																																										
<p><b>調査項目毎に水準と方向性を確認</b></p>																																																																																																																																																
<p><b>競合他社との比較</b></p> <p>Level vs. Change Percentile Performance</p> <p>Leading: Employee Turnover</p> <p>Lagging: % Independent Directors</p>																																																																																																																																																

# ESG投資における銘柄選択プロセス（ベスト・イン・クラスでの事例） アクティブ運用における投資テーマや売買推奨とESG格付けを融合



## 投資テーマ：ミッドストリーム（エネルギーセクター）に対するポジティブな見通し

1. 安定したキャッシュフロー
2. レバレッジ削減の選択肢
3. 投資適格格付けへのコミットメント

	外部格付	10年債 スプレッド	アクティブ 運用での 相対価値 分析（A買 い-C中立- E売り）	アクティブ・ ポート への組入れ	MSCI ESG格付	インベスコ ESG格付 （A優位-C 中立-E劣 後）	ESG ポート への組入
<b>Enbridge</b>	Baa2/BBB+	132	C	○	A	A	○
<b>Oneok</b>	Baa3/BBB	159	C	○	A	B	○
<b>Williams Companies</b>	Baa3/BBB	147	C	○	BB	C	×

出所：インベスコ。例示的目的のみ。特定の有価証券の推奨、勧誘および販売を企図するものではありません。

# まとめ



# インベスコの債券運用におけるESGへの取り組み まとめ



リターンへの影響

- 投資判断に新たな視点
- 長期的に安定したリターンに期待

投資先の選定

- 堅固なESG運用体制を構築し、実績豊富なマネジャーの採用

ESG運用における  
様々なニーズ

- 投資家のニーズに応じたカスタマイズド・ソリューションの提供

ESG債券における  
インベスコの特徴

1. 世界トップクラスのESG評価
2. 良好かつ豊富な運用実績
3. グローバル市場を幅広くカバーする充実した組織

# 投資リスク、費用と税金について



# Invesco Global ESG Investment Grade Corporate Bond 戦略に関する投資リスク



当運用戦略は、外国の公社債など値動きのある有価証券に投資しますので、金利動向の影響や組入れた公社債などの発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により、損失を被ることがあります。また、外貨建の資産は、為替変動による影響も受けます。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。運用機関の指図に基づく行為により生じた利益および損失はすべて投資家に帰属します。

主な投資リスクは次のとおりです。

<b>公社債価格の変動リスク (価格変動リスク・信用リスク)</b>	公社債の価格は、一般的に金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します（値幅は、残存期間、発行者、債券の種類等により異なります。）。また、公社債の発行者の財務状況の悪化などの信用状況の変化、またはそれが予想される場合、価格が下落することがあります。
<b>デフォルト・リスク</b>	利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（デフォルト）、またはできなくなることが予想される場合には、公社債の価格が大きく下落することがあります。
<b>流動性リスク</b>	流動性や市場性が低い有価証券について、期待される価格や希望する数量を売却できない場合があります。
<b>為替リスク</b>	為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給、その他要因により大幅に変動する場合があります。組入外貨建資産について日本円で評価する際、当該外貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、損失を被ることがあります。
<b>カントリー・リスク</b>	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる場合があります。
<b>コール・ローン等の相手先に関する信用リスク</b>	投資資産をコール・ローン等の短期金融商品で運用する場合には、相手先の債務不履行により損失が発生する場合があります。
<b>解約資金手当によるリスク</b>	短期間に相当金額の解約資金の手当てを行うため、市場の規模や動向によっては、市場実勢を押し下げ、当初期待された価格で有価証券を売却できないことがあります。

※投資一任契約の締結に際しましては、重要事項説明書ならびに契約締結前交付書面を必ずご確認下さい。



# Invesco Floating Rate ESG 戦略に関する投資リスク



当運用戦略は、外国の公社債やシニア担保付ローンなど値動きのある有価証券に投資しますので、金利動向の影響や組入れた公社債などの発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により、損失を被ることがあります。また、外貨建の資産は、為替変動による影響も受けます。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。運用機関の指図に基づく行為により生じた利益および損失はすべて投資家に帰属します。

主な投資リスクは次のとおりです。

<b>公社債価格やローンの変動リスク（価格変動リスク・信用リスク）</b>	公社債の価格は、一般的に金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します（値幅は、残存期間、発行者、債券の種類等により異なります。）。また、公社債やローンの発行者の財務状況の悪化などの信用状況の変化、またはそれが予想される場合、価格が下落することがあります。
<b>デフォルト・リスク</b>	利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（デフォルト）、またはできなくなることが予想される場合には、公社債の価格が大きく下落することがあります。
<b>流動性リスク</b>	流動性や市場性が低い有価証券やローンについて、期待される価格や希望する数量を売却できない場合があります。
<b>為替リスク</b>	為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給、その他要因により大幅に変動する場合があります。組入外貨建資産について日本円で評価する際、当該外貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、損失を被ることがあります。
<b>カントリー・リスク</b>	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる場合があります。
<b>コール・ローン等の相手先に関する信用リスク</b>	投資財産をコール・ローン等の短期金融商品で運用する場合には、相手先の債務不履行により損失が発生する場合があります。
<b>解約資金手当によるリスク</b>	短期間に相当金額の解約資金の手当てを行うため、市場の規模や動向によっては、市場実勢を押し下げ、当初期待された価格で有価証券を売却できないことがあります。

※投資一任契約の締結に際しましては、重要事項説明書ならびに契約締結前交付書面を必ずご確認下さい。

# Invesco Environmental Focus Municipal 戦略に関する投資リスク



当運用戦略は、外国の公社債など値動きのある有価証券に投資しますので、金利動向の影響や組入れた公社債などの発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により、損失を被ることがあります。また、外貨建の資産は、為替変動による影響も受けます。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。運用機関の指図に基づく行為により生じた利益および損失はすべて投資家に帰属します。

主な投資リスクは次のとおりです。

<b>公社債価格の変動リスク (価格変動リスク・信用 リスク)</b>	公社債の価格は、一般的に金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します（値幅は、残存期間、発行者、債券の種類等により異なります。）。また、公社債の発行者の財務状況の悪化などの信用状況の変化、またはそれが予想される場合、価格が下落することがあります。
<b>デフォルト・リスク</b>	利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（デフォルト）、またはできなくなることが予想される場合には、公社債の価格が大きく下落することがあります。
<b>流動性リスク</b>	流動性や市場性が低い有価証券について、期待される価格や希望する数量を売却できない場合があります。
<b>為替リスク</b>	為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給、その他要因により大幅に変動する場合があります。組入外貨建資産について日本円で評価する際、当該外貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、損失を被ることがあります。
<b>カントリー・リスク</b>	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる場合があります。
<b>コール・ローン等の相手 先に関する信用リスク</b>	投資資産をコール・ローン等の短期金融商品で運用する場合には、相手先の債務不履行により損失が発生する場合があります。
<b>解約資金手当によるリス ク</b>	短期間に相当金額の解約資金の手当てを行うため、市場の規模や動向によっては、市場実勢を押し下げ、当初期待された価格で有価証券を売却できないことがあります。

※投資一任契約の締結に際しましては、重要事項説明書ならびに契約締結前交付書面を必ずご確認下さい。

# グローバル・シニア・ローンESG戦略に関する投資リスク



当運用は、値動きのあるドル建てならびにユーロ建てのシニア担保付ローン等への投資を行います。組入れたローンの価格の下落や金利動向等のほか、ローン借り手の倒産や財務状況の悪化およびそれらに関する外部評価の変化等により、ローンの価格が変動し、損失を被る可能性があります。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、投資対象であるローン等の価格下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

主な投資リスクは次のとおりです。

<b>信用リスク</b>	ローンの価格は、借入企業の財務状況の悪化などの信用状況の変化、もしくはそれが予想される場合、価格が下落することがあります。また、利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（デフォルト）、またはできなくなることが予想される場合には、ローンの価格が大きく下落することがあります。当運用では主として非投資適格のローンに投資しますが、それらのローンはより高い格付のローンよりも価格変動が大きく、より高い格下げリスクやデフォルトリスクを伴います。デフォルトの場合には、通常当該ローンを売却しますが、市場環境等により売却ができない場合、最終的に担保資産の処分による回収が行われることがあります。担保の状況によっては投資元本に対して担保の価値が充分でない場合もあります。
<b>価格変動リスク</b>	ローンの価格は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動し、下落することがあります。また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。
<b>担保価値変動リスク</b>	通常、融資実行時には融資額と同程度以上の担保が設定されますが、市場環境の変化によって担保価値が変動し、ローンの価格が下落することがあります。
<b>金利変動リスク</b>	投資するローンの大半は変動金利であるため、金利の上昇（低下）による価格の変動は固定金利の資産に比べて相対的に小さなものになると想定されますが、金利変動局面やスプレッド拡大局面では、その影響を受けてローン価格が下落することがあります。
<b>公社債にかかるリスク</b>	公社債の価格は、一般的に金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します（値幅は、残存期間、発行者、債券の種類などにより異なります）。また、公社債の発行者の財務状況の悪化などの信用状況の変化、またはそれが予想される場合、価格が下落することがあります。利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合、またはできなくなることが予想される場合には、公社債の価格が大きく下落することがあります。
<b>流動性リスク</b>	ローンや社債は、一般的に流動性や市場性が低く、期待される価格や希望する数量を売却できないことがあります。
<b>為替変動リスク</b>	為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給、その他要因により大幅に変動する場合があります。組入外貨建資産について日本円で評価する際、当該外貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、損失を被ることがあります。

※投資一任契約の締結に際しましては、重要事項説明書ならびに契約締結前交付書面を必ずご確認下さい。

# 米国シニア・ローンESG戦略に関する投資リスク



当運用は、値動きのある米ドル建てのシニア担保付ローン等への投資を行います。組入れたローンの価格の下落や金利動向等のほか、ローン借り手の倒産や財務状況の悪化およびそれらに関する外部評価の変化等により、ローンの価格が変動し、損失を被る可能性があります。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているのではなく、投資対象であるローン等の価格下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

主な投資リスクは次のとおりです。

<b>信用リスク</b>	ローンの価格は、借入企業の財務状況の悪化などの信用状況の変化、もしくはそれが予想される場合、価格が下落することがあります。また、利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（デフォルト）、またはできなくなることが予想される場合には、ローンの価格が大きく下落することがあります。当運用では主として非投資適格のローンに投資しますが、それらのローンはより高い格付のローンよりも価格変動が大きく、より高い格下げリスクやデフォルトリスクを伴います。デフォルトの場合には、通常当該ローンを売却しますが、市場環境等により売却ができない場合、最終的に担保資産の処分による回収が行われることがあります。担保の状況によっては投資元本に対して担保の価値が充分でない場合もあります。
<b>価格変動リスク</b>	ローンの価格は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動し、下落することがあります。また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。
<b>担保価値変動リスク</b>	通常、融資実行時には融資額と同程度以上の担保が設定されますが、市場環境の変化によって担保価値が変動し、ローンの価格が下落することがあります。
<b>金利変動リスク</b>	投資するローンの大半は変動金利であるため、金利の上昇（低下）による価格の変動は固定金利の資産に比べて相対的に小さなものになると想定されますが、金利変動局面やスプレッド拡大局面では、その影響を受けてローン価格が下落することがあります。
<b>公社債にかかるリスク</b>	公社債の価格は、一般的に金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します（値幅は、残存期間、発行者、債券の種類などにより異なります）。また、公社債の発行者の財務状況の悪化などの信用状況の変化、またはそれが予想される場合、価格が下落することがあります。利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合、またはできなくなることが予想される場合には、公社債の価格が大きく下落することがあります。
<b>流動性リスク</b>	ローンや社債は、一般的に流動性や市場性が低く、期待される価格や希望する数量を売却できないことがあります。
<b>為替変動リスク</b>	為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給、その他要因により大幅に変動する場合があります。組入外貨建資産について日本円で評価する際、当該外貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、損失を被ることがあります。

※投資一任契約の締結に際しましては、重要事項説明書ならびに契約締結前交付書面を必ずご確認下さい。

# 欧州シニア・ローンESG戦略に関する投資リスク



当運用は、値動きのあるユーロ建てのシニア担保付ローン等への投資を行います。組入れたローンの価格の下落や金利動向等のほか、ローン借り手の倒産や財務状況の悪化およびそれらに関する外部評価の変化等により、ローンの価格が変動し、損失を被る可能性があります。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、投資対象であるローン等の価格下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

主な投資リスクは次のとおりです。

<b>信用リスク</b>	ローンの価格は、借入企業の財務状況の悪化などの信用状況の変化、もしくはそれが予想される場合、価格が下落することがあります。また、利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（デフォルト）、またはできなくなることが予想される場合には、ローンの価格が大きく下落することがあります。当運用では主として非投資適格のローンに投資しますが、それらのローンはより高い格付のローンよりも価格変動が大きく、より高い格下げリスクやデフォルトリスクを伴います。デフォルトの場合には、通常当該ローンを売却しますが、市場環境等により売却ができない場合、最終的に担保資産の処分による回収が行われることがあります。担保の状況によっては投資元本に対して担保の価値が充分でない場合もあります。
<b>価格変動リスク</b>	ローンの価格は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動し、下落することがあります。また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。
<b>担保価値変動リスク</b>	通常、融資実行時には融資額と同程度以上の担保が設定されますが、市場環境の変化によって担保価値が変動し、ローンの価格が下落することがあります。
<b>金利変動リスク</b>	投資するローンの大半は変動金利であるため、金利の上昇（低下）による価格の変動は固定金利の資産に比べて相対的に小さなものになると想定されますが、金利変動局面やスプレッド拡大局面では、その影響を受けてローン価格が下落することがあります。
<b>公社債にかかるリスク</b>	公社債の価格は、一般的に金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します（値幅は、残存期間、発行者、債券の種類などにより異なります）。また、公社債の発行者の財務状況の悪化などの信用状況の変化、またはそれが予想される場合、価格が下落することがあります。利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合、またはできなくなることが予想される場合には、公社債の価格が大きく下落することがあります。
<b>流動性リスク</b>	ローンや社債は、一般的に流動性や市場性が低く、期待される価格や希望する数量を売却できないことがあります。
<b>為替変動リスク</b>	為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給、その他要因により大幅に変動する場合があります。組入外貨建資産について日本円で評価する際、当該外貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、損失を被ることがあります。

※投資一任契約の締結に際しましては、重要事項説明書ならびに契約締結前交付書面を必ずご確認下さい。

# GBP Corporate Bond ESG 戦略に関する投資リスク



当運用戦略は、外国の公社債など値動きのある有価証券に投資しますので、金利動向の影響や組入れた公社債などの発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により、損失を被ることがあります。また、外貨建の資産は、為替変動による影響も受けます。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。運用機関の指図に基づく行為により生じた利益および損失はすべて投資家に帰属します。

主な投資リスクは次のとおりです。

<b>公社債価格の変動リスク (価格変動リスク・信用リスク)</b>	公社債の価格は、一般的に金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します（値幅は、残存期間、発行者、債券の種類等により異なります。）。また、公社債の発行者の財務状況の悪化などの信用状況の変化、またはそれが予想される場合、価格が下落することがあります。
<b>デフォルト・リスク</b>	利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（デフォルト）、またはできなくなることが予想される場合には、公社債の価格が大きく下落することがあります。
<b>流動性リスク</b>	流動性や市場性が低い有価証券について、期待される価格や希望する数量を売却できない場合があります。
<b>為替リスク</b>	為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給、その他要因により大幅に変動する場合があります。組入外貨建資産について日本円で評価する際、当該外貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、損失を被ることがあります。
<b>カントリー・リスク</b>	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる場合があります。
<b>コール・ローン等の相手先に関する信用リスク</b>	投資資産をコール・ローン等の短期金融商品で運用する場合には、相手先の債務不履行により損失が発生する場合があります。
<b>解約資金手当によるリスク</b>	短期間に相当金額の解約資金の手当てを行うため、市場の規模や動向によっては、市場実勢を押し下げ、当初期待された価格で有価証券を売却できないことがあります。

※投資一任契約の締結に際しましては、重要事項説明書ならびに契約締結前交付書面を必ずご確認下さい。

# 費用と税金について

下記戦略に関する費用と税金については、下表の通りとなります。

- ・Invesco Global ESG Investment Grade Corporate Bond 戦略
- ・Invesco Floating Rate ESG 戦略
- ・Invesco Environmental Focus Municipal 戦略
- ・グローバル・シニア・ローンESG戦略
- ・欧州シニア・ローンESG戦略
- ・GBP Corporate Bond ESG 戦略

<p><b>直接投資の場合にご負担いただく報酬・費用</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【投資一任契約に係る報酬】 投資一任契約に係る報酬などの総計は、現時点で、当戦略の報酬料率を決定していないため、表示することができません。</li> <li>● 【特定(金銭)信託の管理報酬】 当該信託口座の受託銀行である信託銀行に管理報酬をお支払いいただく必要があります。具体的料率については信託銀行にご確認下さい</li> <li>● 【組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等】 当該費用については、運用状況や取引量等により変動するものであり、事前に具体的な料率、金額、上限または計算方法等を示すことができません</li> <li>● 【費用合計額】 上記の費用の合計額については、運用状況などによって変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。</li> </ul>
<p><b>課税について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 非課税要件を満たした年金基金のお客様については非課税となります。</li> </ul> <p>※外貨建資産への投資によって発生する配当、キャピタルゲインに対して、関係国で課される税金を負担する場合があります。</p>

※投資一任契約の締結に際しましては、重要事項説明書ならびに契約締結前交付書面を必ずご確認下さい。

# 米国シニア・ローンESG戦略に関する費用と税金



投資一任契約に基づいて外国籍私募投信に投資する場合の費用は次のとおりです。

<b>国内特定（金銭）信託における費用・税金</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>投資一任契約に係る報酬：0.11%（税抜0.10%）</li> <li>非課税要件を満たした年金基金のお客様については非課税となります。</li> <li>特定（金銭）信託の管理報酬：当該信託口座の受託銀行である信託銀行にお支払いいただく必要があります。具体的料率については信託銀行にご確認下さい。</li> <li>上記の費用の合計額については、運用状況などによって変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。</li> </ul>
<b>投資先海外ファンドにおける費用・税金</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際の投資は日本国外のファンドで行い、国内特定（金銭）信託口座から日本国外のファンドに投資することを前提とします。その場合に間接的にご負担いただく費用は次のとおりです。</li> <li>投資対象ファンドにおける運用報酬：0.55%</li> <li>投資対象ファンドの管理報酬および費用：ファンドの運用残高によって変動するため、事前に具体的な料率、金額または計算方法は記載できません。</li> <li>その他の費用：組入銘柄の売買時に発生する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、監査費用等が発生し、投資先海外ファンドの信託財産中より支払われます。これらの費用は取引量などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額または計算方法は記載できません。</li> <li>上記の費用の合計額については、運用状況などによって変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。</li> </ul>
<b>費用の合計</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記の費用の合計額については、運用状況などによって変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。</li> </ul>
<b>課税について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非課税要件を満たした年金基金のお客様については非課税となります。</li> <li>※外貨建資産への投資によって発生する配当、キャピタルゲインに対して、関係国で課される税金を負担する場合があります。</li> </ul>

※投資一任契約の締結に際しましては、重要事項説明書ならびに契約締結前交付書面を必ずご確認下さい。



本書は、投資一任契約を通じてインベスコ・アセット・マネジメント株式会社（以下、「弊社」といいます。）が弊社のグループ関連会社が行う投資について説明をしたものです。本書は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。本書はお客様ニーズを把握するためのサウンディング資料であり、特定のファンドや有価証券等についての言及は、あくまで参考情報として提供するものであり投資の推奨や勧誘する意図で提供するものではありません。本文で詳述した本書の分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と重要な差異が生じる可能性もあります。当資料について事前の許可なく複製、引用、転載、転送を行うことを禁じます。

また、本書はインベスコのグループ会社の行う投資手法ならびにプロセスを説明するために、過去の一時点における投資行動の具体例、または特定企業・銘柄に対する評価事例を掲示いたしますが、これをもって当該銘柄に対する投資を推薦、勧誘する意図はありません。ポートフォリオ特性値、組入れ銘柄などは、あくまで過去の一時点におけるデータに過ぎず、将来のポートフォリオが同様の傾向、組入れを継続する保証はございません。当資料にてご紹介した運用戦略を活用したファンドを組成することを保証するものではありません。

投資一任契約の締結に際しましては、重要事項説明書ならびに契約締結前交付書面を必ずご確認ください。

### インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第306号  
加入協会 一般社団法人 投資信託協会  
一般社団法人 日本投資顧問業協会